夕刊
磐城新聞
三月十三日發行

定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢(郵税拾五錢)
廣告料金 普通欄金六拾錢 特別欄金九拾錢(五號十二字詰一行一回)(場所指定一行各金増)
編輯印刷發行人 柏木衛 福島縣石城郡平町一町十六番地
發行所 磐城新聞 合名會社
發賣元營業所(タイライワキ) 平局私書函第十二號 電話五六四番
(日曜祭日翌日休刊)

家庭平和に就て

古河炭鑛勞働係主任 前松佐嘉

三

併しその根本に立入つて見ると一つの大なる原因に歸納する事が出來ると思ひます、それは如何なるものかと申しますと家庭同士に於ける理解の不足にあると言ひたいのであります。尤も之を根本原因と見做すはどうかと思ひますが少くも最大原因の一つである事は間違ひのない話であります家族は素より異つた個性のもち主でありますが、其れが假令幾人ゐようとも本當に理解し合ふならば決して不和の生ずるものではありません。つまり同じ釜の御飯を食べながら彼れ是れ物議を醸すると云ふのは各自が相手を理解しないからであります

家庭内に於ける不和は夫れが夫婦間の事であらうと親子間の事であらうと、將また主從間の事であらうと要するに理解の不足に基くのであります。明治維新當時の事であります。或る憂國の志士某は大久保利通の言動を以て國家を毒するものと思ひ、之れを刺して國奸を除かんとしたのであります。勿論某は大久保の人となりを熟知して決心したものでなく、單に人より大久保の心事といふものを洩れ聞き、それを輕信して暗殺を思ひ立つたので一應これを山岡鐵舟に相談しました、所が鐵舟は暗殺には極力反對してその暴擧を止めましたけれども某は頑として決心を飜さうとしないそこで鐵舟は『君が强いて希望を達しようと云ふならば敢て反對はせぬが兎に角君一人ではあぶない、僕と一緒に彼を訪れ僕と對話の際をねらつて遣つけろ』とこゝに二人は或る日、大久保を訪ひ、鐵舟は豫定どほりに大久保と對話を始める刺客は傍にあつて竊に際をねらつて居りました。併し大久保には寸分の隙がないばかりでなく彼の談話は言々句々みな肺肝より出で憂國濟民の熱誠を披瀝するのでありました、刺客は今さら噂と實際とが反對せるを知つて自らの暴擧を悔いて暗殺を思ひ止まつたと云ふ話であります。尤も大久保は後ちに島田一郎のために殺害されて遂に他界の人となる不幸を見ましたが之れを聞いた前の某志士は

『一郎等もまた大久保の心事を知らなかつた爲である、彼等にして若し自分のやうに知つて居つたならば、この兇行をなさなかつたであらう』

と言つて歎息したといふ事であります、先には暗殺せんとまで決心したものが須く眞相を知つた爲に前非を悔いるばかりでなく、却つて同情者に變じたのであります。之は社會の出來事でありますけれども家庭に於ても亦之と同樣のことが屢々あります。他人からの中傷や、自分の猜疑心や、或は僻根性から相手を誤解して恐しい悪意を起すものありますが、お互に自重せねばならぬ問題であります

今朝の分れ

明

○なごやかな今朝の別れ、變化と變化と又强いられる變化にゐる人生
○旅ながなが荒波に縛けられやう、故郷、君たちに見送られて
○今社會の秋を把へんとする不安、硬く結晶して昨日迄の春
○天氣豫報旗は曇日、『頑張れ』の聲援のもと、次の現實に流れて行く
○卒業に見る淡心な白紙、汚れた世の角には何と不似合の――その

社會の今日

3月14日 △富士山噴火(延暦一九)△淺野長矩吉良義央を傷く(元祿一四)△外人との婚姻を許す(明治六)△横濱市電罷業解決△聯盟支那調査委員上海に到着△寫眞王イーストマン氏ピストル自殺を遂ぐ(昭和七)

○

陽炎や終日屆む庭作り　瑤音

ラヂオ屋のラヂオ飽きずにきいてゐるこのかたまりも錢ないらしい　伊藤公敬

我等の前途 女中の手記

戸田光枝

下

何をかくしませう。私は某家の女中です、卒業後此に一年はなにもせずに暮してしまいました。それのみか、世をのろい神を怨みました。

友達は皆女學校に通つて居るのにひき返、自分は女中などであまりにも不幸ではなからうか、或は目下の者に、ねえやなどゝ言はれる、心の狹い私は女中なるが故に其程迄蔑まれるのかと思つて情けない涙が幾度となく出ました

けれど今になつて目がさめました『此の運命は自分を光に導く好の材料ではないか』(昔の人が言つた通り玉もみがかずば光なし』女中を一生やつて居るわけでない、二年か三年である。自分は此れより永い〳〵旅をせねばならぬのである。其の前途は山を越え、谷を渡り、或は風や雨にも合ふかも知れぬ、そのような事に負けてはならぬ、何時かは幸福な運命も自分に來るでせう

其の時こそは握つたら最後はなさぬように氣をつけませう、けれども幸福な運命は唯は來ません、自分から見つけねばならぬ

かたつむりのように引込み思案ではだめだと思ふ。少年、少女の皆樣よ、大いに骨身おしまづ働き且自己の修養に志と我が運命を開拓致しませうね。私は皆樣の前途を祈り一年先に實社會に出た者として此の文をお送り致します

講談 浪人長屋

(36) 日岐武志作 月草道子畫

立ち聽き

『さうだ、先刻太七に道で逢うた。今朝輕井澤へ行つてきたそうぢやが、なにか用件があつてか』

鐵彌は、おもひ出したやうにたづねた

『いゝえ』

と、靜香はうなづいてみせたが

――占ひ師龍雲齋のところへ行つて來た、とはいへなかつた

『ちよつと、お父ッあんのお使に……』

『さうか』

龍雲齋からきいた三人目の男の一件を、いつそ鐵彌に打明けてしまはうかとおもつたが、他人に告げると占ひのききめがなくなつてしまふといふ言葉をおもひ出して、靜香は口を噤んだ

一紙雛を拾つたとかで、太七はなにかぷりぷりしてをつた』

『つまんないことなのです!』

『でもなからう、そなたを恨んでゐるものがあるやうだ』

『鐵彌さま、それをほんとうとお思ひなさるの……』

『ほんとうかもしれんな』

鐵彌は、わざと眞がほでいつた

『でも、あれは、太七がそう邪推しただけです。お新さんは、そんなおそろしいことをするやうなひととは思はれませんもの』

だんだん心配さうなかほに變つてゆく靜香の樣子が鐵彌にはおもしろかつた

『どうだか、拙者はお新どのだと思ふ』

『まア鐵彌さまも』

靜香は目をまるく見張つて、鐵彌をみた。さッとかほがあをざめた。氣のせいか、胸をふるはせてゐるやうだつた

そのやうすをみると鐵彌は急にいぢらしくてたまらない氣がした

『ハ、ハ、ハ……』

鐵彌は大聲をあげて氣輕に笑つた

『大丈夫だ、拙者がついてゐる、お新どのがどんなことをしようと、そんな些細なことを氣にかけない事だ靜香どのは弱虫ぢやな』

靜香は强ひてわづかに笑んだが、やつぱり氣にかゝるらしく、すぐ頰笑みはその顏から消えた

その時、足元で眠つてゐた圓がむつくり起上るや、林の奧の一方をみながら、うーッと、唸つた

誰かゐるのだ、二人はいひ合はしたやうに圓の樣子をみた

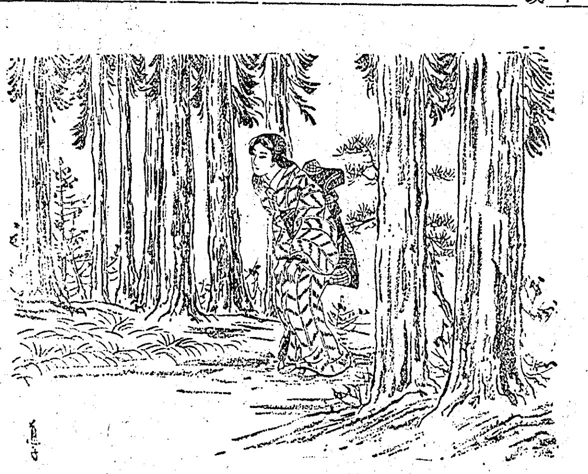
『圓、どうしたの』

うーッ

圓は唸りながら、その眼は一方をぢつとみつめてゐる

二人が、圓がみてゐる方へふりかへつた時である後の籔の陰から誰か逃げてゆく後姿がちらりとみた

二人は思はずかほを見合せた、今の話の、お新である



『まア、お新さんが……』

と、靜香が眼をまるくして言ひかけたとき

『お兄さまッ』

とよぶ聲

前方の林の中を、鐵彌の妹小菊がこばしりに走つてくるのが見えた

手をあげてよんだ時、白いかほが林の中のもれ陽にかゞやいて見えた

『おーい』

と、鐵彌は返事をした

息をきらして、小菊は二人の方へ近づいて來た、母の小花から受けついだ色白な可愛いかほが、氣恥かしげに二人を見比べた

『村かたの若しうがみえたからお父さまが、お兄さまに代稽古をなさるやうにッて』

『さうか』

鐵彌はちらりと靜香とかほを見合せた

『よし行かう』

と、言つて立上つた

廣告

坊やの名前

あなた『坊やの名前を何とつけました』

あゝ『紺屋町の日本姓名學會東北支部へ頼んだよ』

ほんとうに『姓名學でつけた名前はみんな大丈夫と成功するつてね!』

さうさ『名は体を顯はす名は實の賓也と云ふ諺がある、昔から名前が惡い爲めに一身一家を亡した例はいくらでもあるぢやないか、名ほど大切なものはない、私等二人の名も惡いからついでに改名を頼んで來たよ』

まあ『よかつた、私共はこの子のためにも幸福でゐりたいから』

小野さん『名前をとりかへたつてね―良いですか』

左樣、改名しました『よく姓名學者が姓名は身分といふ者の代表者で即ち身分といふ者の代人である、そして凡ての權限は姓名に委任して置くのであるから代人即ち名前が惡ければ自分(精神及肉体)が惡いのは明かである』と言つて居る、この意味で改名して三年になるが非常によいです、それだから名を鑑定して貰つて惡い人はとりかへる必要がある。

(廣告)

所得税營業收益税の申告を簡便に取扱ひます

税務會計の年中行事、所得純益の申告期が迫りました。本年は非常時豫算編成の結果壹億參千萬圓の自然增收を見込んで居ります。勿論この大部分は所得税、營業收益税で增税の理由が多分に含まれて居ります。手續に欠陥なくして正當なる申告を期間中に提出することは大切な事です。

皆さんの御便宜のため申告書の作成、帳簿整理の手傳ひを致します。無料にて御相談に應じます。

平町字大町(舊公會堂池前通り)
三共商事合資會社内
取扱者 高橋義 電話三六〇番

生徒募集

經濟非常時職業婦人トシテ時代ノ要求ハ洋裁ニアリ、當校ハ最近歸朝ノ教師ニ依リ、最新式教授法ニヨリ短期間ニシテ裁斷出來得ルヲ目的トス

教師米國裁縫裁斷學校卒業

酒井洋裁實科學院

平驛前(元マルカ跡)

入學記念時計賣出し

お目出度い御入學御進學が近づきました。御祝に是非正カクな御時計及御眼鏡を御求め下さい・學生樣用にかぎり拾ケ年保險付

特價 金 圓ヨリ
金七
近眼鏡(玉 メミス入) 金壹圓五十錢ヨリ

右のサービスは 三月十五日ヨリ 四月十五日マデ

(小店員數名募集)

平町五丁目(釜屋前)
金光堂時計店
電一九五

職工徒弟募集廣告

◇大工職 五名
◇女工 五名
◇徒弟 八名

◎挽物及木工玩具製作トシテ合理的製作方ヲ望ム人

資格―年齡―拾三四才ヨリ拾六才位迄
學歷―尋常科卒業又ハ以上の事

◎御希望者ハ至急御面談又ハ御問合セヲ乞フ

各種挽物 木製教育 玩具木馬 專門製作

平町十五丁目(共濟病院向)
佐藤木工製作所
電話三八一番(呼)
振替口座東京五七一六番

花の種子

美しい

毎度御好評をいたゞいて居ます。横濱植木會社の輸出向き特選種子です。『草花種子の蒔き方』を上ます。

西村屋藥局種子部
平2・電3

ビノサン

鼻病、腦病 化學治療藥

小―壹圓貳拾錢、中―貳圓、大―五圓

蓄膿症其他鼻病と頭痛症神經衰弱等の諸症が簡單にして他に類の無い一日一回の用藥で手輕に僅かな費用で治療の出來るビノサンが發表されました今すぐ用て劃期的快癒の喜を得て下さい

御來店の方に鼻病説明書無代進呈

福島縣平町白銀町五(千代メッキ店裏)
石城郡特約店 村山書店
販賣御希望の方特に御相談に應ず。

耳鼻咽喉科專門

(入院隨意 病室完備)

平町南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番

貸切ノ御用命ハ

イツデモ眞先ニ(松崎ニ)三九ニタクシーへ
(デンワ、ミクニ)

お醬油は……ヤマフル

味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品

鹽屋 山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部一〇番 本店二七番)

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

上田醫院

外科專門
X光線科

入院隨意(自炊の便あり)
病室完備

平南町
(電話一二九)

産科 婦人科 花柳病科

午前宅診 午後往診 入院應需

平町田町(元合津醫院跡)
井阪醫院
電話五五九番

優等入選 白馬の會

石城酒造組合主催 唎酒會

辰の口本店
平窪村(電話平二八五番)

販賣店
平町二丁目(電五四六番)

耳鼻咽喉科專門

平町田町七〇番地
醫學士 山内亨吉
山内醫院

入院隨意 病室完備
(看護婦見習一名入用)

電話六九一番

依然増送の一途を進む
幾分好轉の前年に較べてこの飛躍
輝かしい昨今の常磐炭界

去る一日以降十日迄の常磐山元發送炭量を大摑みに云ふと前年同期より多い事一日平均營業用五十車强五百三十噸、省用四十四車三百噸强で合計營業用一三、八一二車四七、九六八噸、省用一一、九一〇車二四、五五〇噸、合計一五、七二二車七二、五一八噸に上り、全体に於て車數一割六分五厘、噸數一割二分の増加を示し、而も右は永い間の沈滯氣分から脱し幾分好轉の域に入りかけた昨春に對する增差で幾年の萎縮時代から觀ると眞に飛躍的の需要増加で當分之の情勢を持續するものと看取さる

ては過般來平町役場で取纏中であつたが昨十二日平町の四十八名を筆頭に七町三十四ケ村で甲種九三、書記三三、乙種一二一合計二百四十七名に決定したと

各鑛代表が會合
災害防止 能率增進 對策協議
昨日仙台で常務委員會

日本鑛山協會仙台地方常務委員會は十二日午前十時から仙台鑛山監督局で開催したが管下各鑛山を代表する常務委員全部出席し協議の結果鑛山景氣がやうやく浸潤し出したにつき協會地方常務委員會では九年度においては次の諸問題につき精査研究し鑛業界の圓滿な發達に資することゝなつた

一、災害防止に關する件
一、管守に關する事項
捲揚機械、捲綱及附屬金具、竪坑における枠組爲搯運搬器等に關するもの
一、能率增進に關する件
鑛床の狀况、掘進及採鑛の方法、發破施行方法等
一、衛生施設の改善調査診療所及利用者との交通關係、特殊診療器械の設備其他

納租者減少
石城郡の地租異動

平税務署に於ける去月末現在の地租納税人員は總計二萬六千二百三十八名で昨年に比し四千二百四十九名の減少であるが(增〇減△)内譯左の如し

五百圓以上一、二百圓一三、百圓四五(△二)五十圓一三七(〇一一)三十圓二七七(〇九)二十圓六一七、十五圓八一二(〇二三)十圓一、五一七(〇二三)七圓一、三九七(△一七四)五圓一、一六六(△二八四)三圓一、八一四(△一五一)二圓一、八二一(△一〇三)一圓三、八一九(△三九〇)五十錢(△六〇三)二十錢四、〇二九(△九九七)二十錢未滿四、三二七(△一、六六九)

岩農生徒募集

縣立岩瀬農學校では來新學期から第二部(産業組合科)を新設するので縣下から町村長産業組合長推薦で三十名の生徒募集をする事になつたが願書締切りは今月末迄で來月五、六の兩日學科試驗を行ふと

磐中野球部指導の角田氏來平期延びる
極東大會參加準備で多忙

東京野球協會角田理事が來月十四、五の兩日東京蜂ブドー本舗近藤利兵衛商店廣告部長草野豊氏(磐中十七回慶大卒)の紹介で磐中野球部にコーチする事は既報したが今年度極東大會(於マニラ)參加の日本代表豫選大會に東京俱樂部が出場するため十五日以前は練習のため、十五日は六大學PAチームと同俱樂部との試合のため來平が不可能となり延期となつて四月下旬又は五月上旬來平することになつたと、尙同俱樂部が豫選大會に優勝しマニラに遠征することになれば極東大會から歸つて來てからでなくては此回のコーチは出來ないとの通知があつた

中等校願書受付數(十三日)

△磐中(人員約二百五十名〆切十五日)二百十一名、△磐女(人員約二百名、〆切十五日)百八十三名、△平商(人員約百十名、〆切二十四日)八十二名(平各校分未提出)

町村互助會
二百五十名に決定

愈々來月一日より實施の縣下町村吏員互助會員に就い

原東京營林局長來郡
約一週間に亘つて 造林狀况其他視察

東京營林局長原辰二氏は明十四日來平、齊藤平署長の案內で約一週間に亘つて大野、大浦、大久各村の官行造林、海岸保安林を視察する

平卓球協會委員會

平卓球協會委員會は來る十八日午後六時からマルトモホールで開き規約改正、役員補欠選擧を行ふ

。。。。。。水高受驗者出發。 磐中の水高受驗者今年卒業六名其他合計十二名は明後十五日大平發午前十時四十一分で先發すると

靑訓指導講習

靑年訓練所敎練指導員講習會の郡下第三日は今十三日平第一校で午前九時から福島聯隊區司令部付藤井勇中

。。。。。敎科書出張販賣 平第二校では今明十三、四の兩日敎科書の出張販賣を行はしめてゐるが從來は各自の任意であつたため供給に早遲があり種々遺憾の點があつたので始めての試みとして統制上好成績を擧げてゐる

增築工事執行決定の件

三堀檢事 緒方書記赴任

仙臺へ榮轉の檢事三堀博、若松へ同上の監督書記緒方新次郎兩氏は明後十五日午前九時發の磐越線下り列車にて出發赴任する事となり今十三日各方面を歷訪挨拶をなした

着衣の儘水中へ
溺れる幼兒を救助
佐藤キクヨさん近く表彰

平町仲間町五五佐藤キクヨ(四四)さんは去る六日午前十時頃幼女を背負つて九品寺脇愛谷江筋で洗濯中危ふく溺死せんとした世界館勤務淸長男近江英一(六)を着衣の儘飛込んで救助したが同人は心臟病を患つて居るにも拘らず四年前には同町會田勇の二女朝子さん、七年前には同町高橋一郎長男宏(七)さんが城山櫻堀でスケート遊び中誤つて氷の下で窒死せんとした處を救助した事あるので附近民からこの勇敢な行爲を賞讃されて居る、尙平署では從來一回も表彰した事がないので近く縣にこれが表彰方を申請する事になつたと

平土木委員會

平町土木委員會は來る十六日午後一時から開き左記諸件を協議する
町有地競賣入札の件、町有地借地願の件、會議室

。。。。錦農展授賞式。 錦村農産物品評會褒賞授與式は十五日午前十時から同村小學校で擧行

町有地拂下げの爲
南町火の見櫓移轉
消防の手で近く署構內へ

平町字十五丁目共濟病院脇の町有地は南町大和田醫院に賣却、今三月中に引渡しをなすが同地内の火見櫓移轉は僅か六百圓の豫算なので消防組の手で近く移轉する事になり昨十二日午後一時から役場會議室でこれが委員會を開き種々協議した後靑沼町長外委員一同は移轉地の調査をなした

。。。。寶生流素謠會 平鐵俱樂部では來る十八日午後三時から寶生流素謠會を催すが番組左の如く會費は三十錢であると
高砂、田村、羽衣、熊野
櫻川、山姥、富士大鼓、弱法師、番外―小袖曾我

。。。第三國旗揭揚式 第三校では今十三日建武中興六百年記念日に際し國旗揭揚式を擧行した

。。。皆川一座寄附。 四倉町海盛座に於て去る十一日開演せる皆川一座一行は收益金六十六圓を四倉町在鄕軍人分會に寄附した

。。。。四倉消防幹部會 四倉警察署管內消防組春季幹部大會は來る廿一日午前十時より同町海盛座に於て開催する事に內定した

ると

大風呂敷を背負ひ國道を逃る怪漢
平窪荒しの白米泥捕る

舊臘來平窪村地內を白米專門に荒し廻つて居る賊あり平署では各方面に手配嚴探中の處昨十二日午後十一時頃神谷街道を大風呂敷を背負つて逃走する擧動不審の男あるを引致取調べると右は神谷村上片寄下平三一日下大野村大字八盛字中丸一五定吉婿農渡邊秀吉(二八)で舊臘初旬神谷村上片寄大原助次郎方からもみ餅一石六斗を窃盜、隣家の久野秀之助倉庫からリヤカーを搔拂ひこれを仲間町西山精米所に十四圓で賣却したのを手始めに去る一月廿三日午後十時頃平窪村中平窪淸水留吉方に忍び入り餅米二斗、玄米四斗に空氣銃一挺を窃取、米類は精米所に賣却、空氣銃は神谷村居住賣兒大久保義高(三五)に賣却依賴したので尙餘罪ある見込みで嚴重取調べ中であると

列車に跳ね飛ばさる
赤井の炭鑛夫重傷

赤井村大字西小川字坂下居住古市鑛業所勤務佐藤武夫(三〇)は今十三日同村字瀧の作地內で平發五時四十二分十三號列車にはね飛ばされ頭部に約三寸の裂傷、右足は足首より轢斷され目下平町田町安齋病院に入院治療中であると

。。。。中堅農民生奉仕。 過般來平團体事務所樓上で開かれてゐた郡下中堅農民講習會は明十四日終了するので會員約七十名は午後一時から松ケ岡公園、新川の櫻樹を荒すテングス病の驅除奉仕をすると

。。。。鈴木喜平氏就任。 高久村新設の郵便局取扱所長には同村鈴木喜平氏近く任命さ

第一校諸催し

。。。智能檢査 明十四日高等科に就て執行
。。。成績認定會 十七日開催後職員會を催し學期末に就いて種々協議する
。。。珠算競技會 來る十九日午後一時から開催、尋五以上各組四名宛が覇を競ふが種目は讀上算、見取算

昨夜來の春さめ
世を桃色に彩る
併し急に氣温は昂るまい
小名濱測候所の觀測

曉を覺えぬ春眠の快夢を一入深みに導く今朝の雨、世にも艷なるその春さめに天地は漸く和ごやかな春の陽氣へと入つて行く、谷川瀨の小堀には野芹が伸び、田畑の黑い土にもほのかな膨らみが見えてゐる、今日の遠山の何と霞んでゐる事よ、紛ふ方無き春だ、本格的の春だ、處でこの雨を木のかしらに舞蠶は果して陰慘な冬の背景から桃色の春へと急轉回と來るかしら、反對に冷え込んで冬へ逆轉する様な事は無いか、小名濱測候所へ伺ひを立てる
昨夜降り出してから今朝(十時)迄の降雨、坪當り量僅かに七ミリ(一斗二升八合一勺)午前中一寸霽れて午後降り出し夜分には少し强くなる見込であるが明日(十四日)は晴れる見込である。春雨があれば漸次氣温が上昇する事になつてゐるが今年の氣壓は頗る變態的で殊に海水溫度が低く去月二十六日以來鰯も影を見せぬと云つた鹽梅なので之の雨によつて急激に温度が上る様な事はない、ボツ〳〵急がずに春へ。と云ふ事にならう。云々

健氣にも生活戰線へ
世をま探り生くる人
訓盲院を巣立つ男女三名

春光を浴びて學園の年は改まり永の學窓生活から巣立つ小鳥の羽ばたきも喜色に包まれて磐錯の社會にと飛立つて行く……卒業生、こゝもと磐城訓盲院にも其の春はやつて來た。來る二十二日は其の晴れの卒業式である

×

今年の(中等部)卒業生は男生一名、女生二名で樂しい學園から三名を送らねばならぬ同校は喜びの裡にも深き寂しさを感せしめて居る、一本の杖と習ひ覺えた技術とを資本に若い身空で生活戦線へ飛び出さうとする健氣な二女性!赤井村鈴木ミト(三三)さん、平町鎌田鯨岡イチ(一九)さんの喜びもこの晴れの日を迎へて又一入だ

×

凡帳面で評判な、卒業一人男、田村郡三春町の遠藤善吉(三五)君の感想は?
『高等學府を出て就職地獄に惱されて居るいたましい世相をよそに、直に鍼灸按摩マッサージと云ふ處でね!』
ざつと斯う云つた處!、微笑みながら四技術の手眞似指先が敏感に躍る

×

雨風を厭はず在學中われと學費を稼ぎ出した苦勞は茲に酬ひられて眞に涙ぐましい感激の日は彼等の前途を祝して居る

鰐ケ淵の身投げは
平町生れの女中
自殺の原因依然不明

既報―去る八日久之濱町波立海岸鰐ヶ淵に投身自殺した女の身元は依然不明の儘に置かれて在つたが昨十二日午後一時に至り四倉署へ出頭した搜索人の申出でによつて當時住所不定平町長橋町生れ吉田キン(三三)で、以前同町鎌田町一〇疊職松本長吉(三四)方に女中奉公をしたものである事判明したが自殺原因は今尙は不明であると

平區略式一束

。。。點呼不參。 赤井村大助西小川字山の入福島炭鑛坑夫長屋居住坑夫菅生楠一郎(三〇)は第一補充輜重特務兵であつたが本籍北海道夕張郡夕張町大字新夕張から移住の際所定屆出をしなかつたため昨年八月十五日同町第一小學校で執行した簡閱點呼に參加出來ず

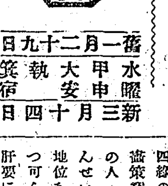
。。。橫着運公。 双葉郡浪江町大字權現堂字新町八三石川順方自動車運轉手小林辰(三六)は去月十一日同郡長塚村大字鴻の巢字鴻の巢地內國道を疾走中運轉を誤り乘客鈴木淸彌を顚落傷せしめながら所定の屆出をなさず、何れも昨十二日平區から略式で各罰金二十圓を言渡さる

。。。農夫暴行。 平町鎌田町五一農夫遠藤三郎(三〇)は昨十二日午後十一時頃泥醉の上同町鎌田橋上で折から自轉車で進行して來た飯野村駐在巡査に暴行を働き檢束された

。。。ボヤ。 十日午後七時頃內郷村大字綴字一の坪四二雜貨商石川喜代重方から發火家根二坪を燒失した原因隣家飲食店の煙突の飛火

。。。チフ。 平町新川町三富タケ子(七)は十二日チフテリアと決定した

十四日
日出 五、五五　月出 前四、五九
日沒 五、四七　月沒 後四、二六
滿潮 前五、一五 後四、五〇　干潮 前一〇、四五 後一一、一五



舊 一月二十九日
新 三月十四日　水曜　甲申　大安　執　箕宿

諸判定應需 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神宮館

▲一白の人 事志と反して失望落膽を呈すべく守勢に吉▲二黑の人 計畫する所遂行せざるなし利福大に加はる▲三碧の人 優良なる氣運の中にも危險を含む急進嚴禁▲四綠の人 餘裕しやく〳〵として萬策意の如く行はるゝ吉日▲五黃の人 我慾のみに耽れは意外のたんせいに落ち込べし▲六白の人 地位を堅く守りて無理に計畫を樹つ可らず▲七赤の人 ふみ出しが肝要にて輕擧妄動に陷る事勿れ▲八白の人 捨て身となりて事に當れば苦境をも突破す▲九紫の人 熱情に驅られて理智を失はんとする危險日

二十八回生徒募集
非常時の女性に促す
婦人職業の近道に 産婆看護婦を御選み下さい
それには成績の最もよいと定評のある
平南町 産婆看護婦學校へ
△申込み成るべく早く
△新學期の開始は四月八日より
平産婆看護婦學校 校長 清野キヨ子 電話三〇七番

産婦人科 外科 藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 内木宗八
藥劑師 玄番彌一

入院隨意 病室完備 木村病院 平町新川町十九番地 電話一六四番

一、派出多忙に付會員募集
一、本會は各御家庭の便宜を計御手不足の場合に臨時に御手傳に上ります
姙産婦や患者の附添、家庭雜用一切(派出料一日金五十錢)
遠近に不拘堅實なる婦人を派出させます。
福島縣石城郡平町八幡小路八三
平家政婦々人會 電[呼]九三
會主 鵜沼隆子
(寄宿の便あり)

內臟 外科 一般外科 花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡(電話四七五番)
安齋外科醫院

平町田町
高久病院 (電話五三一番)
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽濟
藥劑師 佐竹雄
內科 外科 小兒科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科